

公益財団法人京都オムロン地域協力基金京都ヒューマン賞

「水と農業と地球環境問題」

内容趣旨: 気候変動による地球水環境の状況、食の安全保障、温暖化対策としてCガス Nガスの削減、気候変動緩和策として、農業の改革、水とC、N、P、Kの循環から有機肥料農業を強化する農業の基本、土壌微生物、腸内細菌と人の共生による健康(免疫)解明、下水汚泥、家畜糞の堆肥発酵微生物の役割とそれらが植物との共生関係等、地球循環社会の構築。

日時 平成27年11月29日(日) 13:30

場所 キャンパスプラザ京都
(JR京都駅北西徒歩3分)

対象 学生と市民

プログラム

13:00 開場

13:30 主催者挨拶

13:40-14:40 第1部 講演

「水と農業と地球環境問題」

松井 三郎 (京都大学名誉教授)

休憩10分

14:50-16:30 第2部 パネル討論

司会者 清水 芳久 (京都大学工学研究科流域圏総合環境質研究センター教授、環境システム計測制御学会会長)

パネリスト 1. 松岡 譲 (京都大学工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター長・教授)
エネルギー問題と地球温暖化対策のためのC、N、Pの循環の意味

2. 間藤 徹 (京都大学農学研究科応用生命科学教授)
土壌学の発展、有機農業の限界と特質、京野菜の美味しさの秘密

3. 藤井 滋穂 (京都大学大学院地球環境学堂・学舎・三才学林長・教授)
京都大学大学院地球環境学堂・学舎・三才学林が実施している、地球環境問題解決のための途上国の教育研究支援

4. 小野 了代 (公益財団法人日本国際民間協力会 (NICCO) 理事長)
マラウイ・エコサントイレの普及成功例、ケニアの挑戦始まる。
マラウイ湖、ビクトリア湖沼の水質保全と持続可能な農村社会の発展。婦人の地位向上、子供の健康と教育費創出等経験

16:30 共催者挨拶

展示会 日本発世界に普及が始まった最新の環境・農業・防災技術紹介

17:30 終了



展示協賛団体 株式会社ウォーターエージェンシー、共和化工株式会社、株式会社ホクコン、フジワラ産業株式会社、G8インターナショナルトレーディング株式会社
公益財団法人国際湖沼環境委員会 (ILEC)、公益財団法人日本国際民間協力会 (NICCO)

主催 NPO法人京都生涯教育研究所

共催 京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター、環境システム計測制御学会

協賛 京都大学大学院地球環境学堂・学舎・三才学林、公益財団法人国際湖沼環境委員会 (ILEC)、公益財団法人日本国際民間協力会 (NICCO)